

		主に少年Aの動き
昭和55年	1980/1/1	少年Aの両親結婚(共に30歳)
昭和57年	1982/7/7	結婚2年目で長男少年A誕生
		少年Aは、神戸市北区の社宅住まい。
		生後十ヶ月で離乳。
		一歳一ヶ月で両足で立つ
		更に一ヶ月後に言葉をしゃべる。
		一年四ヶ月後次男誕生。
		三年二ヶ月後三男誕生。
		Aが「足が痛い」と訴える」
昭和61年	1986/2/10	土師淳君誕生。神戸市須磨区の産婦人科医院にて。
	1986/6/22	絶歌写真の日付はこの日。3歳の頃
		兄弟喧嘩多し。泣き出すのは弟達。「泣いたらやめなさい」と母から叱責される。
		自分が泣き出すと母の怒りがおさまるのを知る。
		母の叱責を回避する為に祖母の部屋に逃げ込む。
平成01年	1989/3/1	少年Aが7歳の時、神戸市須磨区北須磨団地(友が丘)に移転(母方の祖母所有の戸建て)
	1989/4/1	小学校入学:神戸市立多井畑小学校
	1989/7/7	7歳の誕生日
		少林寺拳法を習い始める。小6まで。
平成02年	1990/4/1	小2
	1990/7/7	8歳の誕生日
平成03年	1991/4/1	小3
		作文「お母さんなしで生きてきた犬」
		作文「まかい(魔界)の大ま(魔王)」
		バブル経済崩壊「失われた10年」が始まる。
	1991/7/7	9歳の誕生日
平成04年	1992/4/1	小4
		「前の家に帰りたい」過干渉による軽いノイローゼと診断される。
		ベッドの周りをぬいぐるみで囲って眠るようになる。自己防衛本能。
	1992/7/7	10歳の誕生日
平成05年	1993/2/1	祖母入院(肺炎予防の為)。小4の2月。
		祖母が入院一週間後、意識不明の重体に陥る。
	1993/2/12	バルジャー事件発生。イギリスのリバプールで起こった誘拐殺人事件。
	1993/4/1	小5。祖母が意識不明のまま小学校5年生になる。
	1993/4/16	母方の祖母死亡(肺炎)小5。自宅で祖母の亡骸と対面。消失感。
		祖母と言う唯一絶対の「錨」を失い、Aの魂は黒い絶海へと押し流されていった。
		祖母の死後、電動按摩器を使用して祖母の部屋で初めての精通体験。
		絶歌の告白ではAは小5(10歳)で初の精通体験をした事になる。
		二回目の自慰行為からは、最中に血が出るほど強く舌を噛むようになった。
		Aは盲腸(腹膜炎一歩手前)で3日間入院経験あり。
		覚醒時興奮
		Aは祖母が亡くなってからめっきり口数が減り、クラスの中で孤立しつつあった。
		この頃、三男の同級生としてA宅に土師淳君が遊びにくるようになる。カメをみにくる。
		なめくじ、カエルの解剖を開始。
		ナメクジはAの自分を投影する心象生物。
		空想上の友人エグリちゃん。犬ガルボス。パモイドオキ神誕生。
		ヒトラーの「我が闘争」
	1993/7/7	11歳の誕生日
		タンク山に秘密基地を作成。
	1993/8/1	父の故郷。鹿児島島の離島へ。小5の夏休み。
	1993/12/1	祖母が飼っていた犬(サスケ)が老衰で死亡。小5の冬。12月の寒い朝。
		名状(めいじょう)し難がたい「歪み」が生じる。
		身体の中に真っ黒い風船が膨らみ、内側から内臓を圧迫した。
		小5の冬休みに入る少し前に、最初の一匹目の猫を殺した。
		性的な衝動がきっかけ。
		猫の一撃によって黒い風船が破裂した。
		射精した。
		祖母やサスケ。愛する者たちを次々と奪っていった「死」を完璧にコントロールした。
	1993/12/16	祖母の死から八ヶ月。僕は奈落の底続く坂道を、猛スピードで転がり落ちていた。
		最初の一匹目の猫を殺して以来、僕は猫殺しの快楽に取り憑かれて、次から次に・・
		友人のダフネ君は転校してきたばかり。
		ダフネ君はクラスで道化を演じていた。
平成06年	1994/4/1	小6に進級。
		小学校6年生に上がると、猫殺しは更にエスカレートした。
		小学校6年生の図工の時間に粘土で脳を模してカミソリの刃をたてた奇っ怪な作品を作る。
		母親のレディスカミソリで手指や太腿や下腹部の皮膚を切った。
		12歳そこそこで僕はもう手の施しようのない性倒錯者になった。
	1994/7/7	12歳の誕生日
平成07年	1995/11/1	小6の11月。エアガン事件。子どもをエアガンで撃つあそび。
	1995/1/17	阪神大震災。小6
		作文「知人の心配」
		少年Aと土師淳君と「かくれんぼ」をして遊ぶ。
	1995/2/1	少年Aが小6の時、土師淳君小3を殴る事件を起こす。
		(唇が切れ、鼻血が吹き出し、頭にたんこぶができるほど、Aはひどく殴りつけた。)
		上記の件で、なかよし学級の女性教師から叱責される。
		担任と一緒に土師淳君宅へ謝りにいく。
		三男(弟)からも淳君を殴らないでとお願いされる。

		ネコの解剖開始。殺したネコは20匹。
		ネコの解剖時、初めての射精を経験(後に絶歌で否定)。
1995/3/1		万引き事件を起こす。小6。猫に水銀、温度計万引き。
		グループによる万引きに加担。父親が呼び出される。
1995/3/20		地下鉄サリン事件発生。小6。
		自作の漫画に登場するキャラとして「酒鬼薔薇聖斗」誕生。
		未来の家の図工の課題:死刑台に上る13階段
		中学に上がる頃には人を壊してみたいという思いに囚われる。
1995/4/1		神戸市立友が丘中学校に入学。問題行動多発。
		自宅二階に個人の部屋を与えられる。(弟との相部屋解消)
		少年A卓球部に入部。
		他校区の小学生の自転車のタイヤをカッターナイフで裂く
1995/6/1		卓球のラケットで同級生をたたく
		同級生の女の子の靴を燃やす
		ある病院の小児神経科で「注意散漫・多動症」と診断される。MRI異常なし。IQ70。
1995/7/7		13歳
		ナイフを万引き。
		親に万引きしたナイフを発見される。
		ホラービデオに熱中。
		護身用にナイフを持ち歩く。
平成08年	1996/4/1	中学校2年生に進級。
	1996/5/11 土	少年Aから母へ母の日プレゼントの絵。中2。
		中2。同級生の女の子をバイキン呼ばわりしていじめる。
		ホラービデオを万引き。
		自宅の庭で拾ったカメの飼育を始める。
		気持ち的に無気力になっていく。
		友達付き合いも減り、タンク山で一人で遊ぶ。
		中学校の女教師が友人の「ダフネ君」「アポロ君」を個別に呼び出しAに近づくと忠告。
		後日、女教師の忠告を正かった事が証明される事件が起こる。(絶歌P.83)
	1996/7/7	14歳
	1996/12/1	一晩で百人一首を覚え母親から小遣い5000円をゲット。
	1996/12/1	レンタルビデオ屋でホラービデオ万引き。警察に補導される。
平成09年	1997/2/1	中学校3年生に靴を踏まれたと自宅まで謝罪要求。
	1997/2/10	小学生ショックハンマー事件(この事件は当初報道されなかった。被害者家族の要望)
		神戸市須磨区中落合で小学6年生の女兒2人が鈍器で殴られる。1人が1週間のけが。
	1997/3/16	竜が台女児殺傷事件
		山下彩花(当時10歳)ちゃんを鉄ハンマー(1.5キログラム)で殴る。一週間後、死亡。
		公園で一人で遊んでいた山下さんに「手を洗う場所はありませんか」と話しかける。
		堀川ひとみちゃん(当時9歳、小学校3年生):ナイフで刺す(全治二週間)
		人間の壊れやすさを確かめるための「聖なる実験」
		「実験ノート」と題するB5判の大学ノートに記述「バモイドオキ神」「聖なる実験」
	1997/3/17	集団登下校始まる。
	1997/3/23	山下彩花ちゃん脳挫傷による死亡記事掲載
	1997/3/24	兵庫県警が須磨署に連続通り魔事件の捜査本部を設置
		事件後も逮捕される日頃と変わらない日常が続く。
		正常な生活、普段と何ら変わらない日常は、時として一気に狂気を加速させる。
	1997/4/1	中学校3年生に進級。
		懲役13年と題する作文を書く。後に、ダフネ君にワープロ清書してもらう。
		(事件から二週間後の4月上旬)
		ダフネ君に自らの犯行を匂わせる告白をする。
	1997/4/24 木	生活指導部から喫煙を注意される。
	1997/5/8 木	学校を休む事に決めました。実験ノート聖なる儀式“アングリ”を遂行と記述。
		この日から16日後、土師淳君殺害。
	1997/5/13 火	三角公園で少年A、同級生(ダフネ君)を自分の拳に時計を巻きつけて殴る。
		絶歌の中でAはこの件を「フィクション化」と記述している。
		すでにAは統合失調症の症状が現れている。
		被害者(ダフネ君)は歯を折る。
		夜:両親とAが被害者(ダフネ君)宅へ謝りに行く。
	1997/5/14 水	絶歌ではこの日がダフネ君を殴った日と記述。
	1997/5/14	事件翌日、父親が学校へ呼び出される。
		授業を受けないまま、Aは父と一緒に帰宅する。父は会社を休み定期健診を受けていた。
		父と母とAが話し合い、母親とAはダフネ君の家に謝りに行く。
		ダフネ君は怖がって部屋から出てこない。ダフネ君母がAとAの母に対応。
		このままダフネ君は転校し、二度とAを会う事はなかった。
		帰宅後Aは母に「しばらく学校を休みたい」と切り出す。
		母は学校に向かい、Aの休学を申し出る。
		学校側の進めでAは児童相談所でカウンセリングを受ける事となる。
		実験ノートの記述:アングリ「聖なる儀式」を遂行する第一段階として学校を休むことに決めました
		不登校(直前に祖母の墓参りを希望する)
	1997/5/15 木	少年A不登校となり、児童相談所に通い始める
	1997/5/16 金	母とA児童相談所(1回目)
	1997/5/24 土	正午過ぎ、自転車に乗って少年A自宅を出る。
		少年A父13時から15時までパチンコ
		13:40 土師淳君「おじいちゃんとか、いってくるわ」との言葉を残し自宅を出たまま行方不明。
		土師守氏「関西アンギオカンファレンス」(大阪)に参加。
		少年Aと土師淳君が偶然遭遇。「タンク山にカメを見に行こう」
		少年A:土師淳君殺害(タンク山)

		少年Aが帰宅するとAの母はバラティTVをみて大笑い。 土師母「淳がきてませんか？」と少年A宅へ電話。 少年A母。近くの公園へ淳君をさがしに。 少年A: 切断した土師淳君の頭部を自宅近くの入角の池の木の根元に隠す。 少年A帰宅。 19:00少年Aの父と三男が淳君を車で探しに…。外は雨。 土師淳君行方不明になる。家族は須磨警察署に捜索願い提出(20:50)。
1997/5/25	日	A家族: 警察、PTA捜索に参加(警察犬も動員): 少年Aの父と三男が淳君を探しに…。 少年Aの母は美容院へ 淳君の頭部を黒いビニール袋に入れ、タンク山から「入角ノ池」へ 途中、なかよし学級の女性教師とすれ違う。 11:30少年AとAの父と三男が北須磨コープ前で偶然あう。Aはビブロスへ。 A一家夕食。
1997/5/26	月	夕刊に淳君行方不明報道(神戸新聞、毎日新聞)。 6:20少年A父出勤。 9:15少年A母、土師宅での電話番へ。(白いサニーを置いて徒歩で出かける)。 10:00A目覚める 食事を済ませ、通学用の補助カバンを持って、自転車に乗り「入角ノ池」に向かう。 淳君の頭部を補助カバンに入れ帰宅。 少年Aは性的興奮を覚えながら、自宅浴室で頭部に付着した木の葉や泥を洗い落とし きれいにタオルで拭いて髪を櫛でなでた。 14:00淳君の頭部を自宅二階の自室の屋根裏に隠す。 14:30少年A母帰宅。 母が作ったミートソーススパゲティ(昼食)を食べる。 中学の生活指導部の先生がA宅を訪問。 「ブレインスキャン」をビデオ鑑賞。何度も繰り返しみた。 父帰宅。家族五人で夕食。 A入浴。 「ブレインスキャン」をリピート再生したまま入眠。
1997/5/27	火	少年A、アメリカの連続殺人鬼:ゾディックを模倣した犯行声明文作成。 少年A、自転車に乗り「スタンド・バイ・ミー」の主題歌を鼻歌で口ずさみながら、 淳君の頭部を友が丘中学校校門へ。 告白しよう。僕はこの光景を、「美しい」と思った。 8:00土師氏へ「友が丘中学校へ行くよう」小学校の校長から連絡がある。 友が丘中学の校門で淳君の遺体の一部と「挑戦状」発見 朝刊に淳君行方不明報道(神戸新聞、読売新聞)。 土師巧(淳君兄)、友が丘中学校を休学。 友が丘中学校在校は全生徒自宅待機 少年Aの父は通常通り会社へ出勤。母はAと一緒に児童相談所(2回目) 児童相談所(2回目:ハーバーランド)で樹木画を書かされる。落雷によって幹がちぎれている絵。 他人からの強い干渉、攻撃を受けている可能性、強い挫折感、他人に対する攻撃性。 神戸大学法医学教室で淳君の司法解剖
1997/5/29	木	土師淳君通夜(平安祭典)
1997/5/30	金	13:30土師淳君告別式: 西神会館(平安祭典)西神斎場。所七日法要。
1997/5/31	土	家族に対する事情聴取開始。
1997/6/1	日	父はゴルフの打ちっぱなしへ帰宅後母と向かいの家の草むしりと自宅前の土手の草刈り 夜: 犯行声明文を作成
1997/6/2		2日の夜、一時間半かけて自分の部屋で犯行声明文作成。
1997/6/4		神戸新聞社へ犯行声明文が届く
1997/6/5	木	母とA児童相談所(3回目)
1997/6/9	月	母とA児童相談所(4回目) 土師巧、友が丘中学校へ登校再開。
1997/6/11	水	父と母で児童相談所(5回目)
1997/6/14	土	家族全員で土手の草刈り A、祖母の墓参りを希望
1997/6/16		土師守氏職場復帰。
1997/6/24	火	児童相談所の先生が家庭訪問(6回目)
1997/6/25	水	父: 仲間とゴルフ
1997/6/26	木	父: 会社へ
1997/6/27	金	県警察本部科学捜査研究所、筆跡での犯人特定に至らず。検査回答書を提出。
1997/6/28	土	この日は偶然、法務省の全国少年鑑別所所長会同の最終日であった。 午前8:00前、少年逮捕 須磨警察署に任意で連行 事情聴取の為、母は垂水署へ任意で連行 担当警察官K氏より、子供たちをどこかに預ける事はできますか? 第二人は親戚の家(少年Aの母の妹宅)に 18:30少年宅にて「家宅捜索令状」 18:50少年宅にて「家宅捜索令状」(2回目) 刑事の取調べ、検事、事務官の調書。 午後7時5分被疑者を逮捕。少年A殺人と死体遺棄の容疑で逮捕。 19:20土師守氏宅へ県警捜査一課岡本氏より19:05犯人逮捕との電話連絡。 20:30テレビテロップ「淳君事件の犯人逮捕。友が丘の少年」 Aの部屋から犯行ノートや工具類押収 小刀、マールポロ、赤いビニールテープ、100円切手、茶封筒、便箋 少年Aの父、押収品目交付書にサイン 21:30.過ぎ、須磨警察署で記者会見(山下征士捜査一課長) 「逮捕は、28日午後7時5分。逮捕場所は須磨署内です。被疑者は中学3年生。

		男性です」
		神戸少年鑑別所は速やかに受け入れ体制を整え始めた。
		名前を失くした日。僕は僕ではなくなった。「少年A」誕生。
1997/6/29	日	神戸地裁に送検。地裁は10日間の拘留請求を認める。 少年A須磨署の三階の八畳の「少年室(保護室)」に。 親戚の家に身を寄せる(両親)、家宅捜索が続く。父立ち会い。
1997/6/30	月	A少年の家族に対して事情聴取が続く
1997/7/1	火	事情聴取と家宅捜索が続く
1997/7/4	金	T検事が検事調書を取りに来る
1997/7/5	土	少年A父。弁護士に会う
		後に、文春に掲載された供述調書はこの日の日付となっている。
1997/7/6	日	須磨警察署の留置場のO氏から電話がある。当分面会は無理と告げられる。
1997/7/7	月	A少年の15歳の誕生日。警察の聴取続く。
1997/7/8	火	神戸地裁は10日間の拘留延長を認める。後に更に10日の延長が認められる。 合計28日間という異例の長期拘留となる。
1997/7/9	水	K刑事経由で神戸市の教育委員会からメッセージが届く 「FOCUS」1997年7月9日号 少年A顔写真掲載
1997/7/11	金	子ども達への聴取が続く。親戚宅へテレビの記者が来る。 実況見聞:同行見聞(土師淳君殺害事件) 向畑ノ池(むこうはたのいけ)の水を殆ど抜き取る。
1997/7/12	土	弁護士と被害者への謝罪方法相談 Aの取調べ続く。
		家宅捜索時の父の写真にショックを受ける。
1997/7/13	日	弁護士からAの病歴を尋ねる電話あり。
1997/7/14	月	各調書にサインする。
1997/7/15	火	Aを連続通り魔事件で再逮捕との報道がされる。
1997/7/16	水	家宅捜索が続く。押収品の返却。45品目。拘留期間が7月25日まで延長される。 土師家で犬を飼うことになった(さらら:プードル) 武田刑事の勧め
1997/7/17	木	妻が検察庁へ
1997/7/18	金	子どもの為にサッカーボールを購入。少年A父が検察庁へ。
1997/7/19	土	弁護士と子ども達の今後を相談
1997/7/20	日	関口宏のサンデーモーニング「神戸・衝撃の犯行ノート 聖なる実験の謎」
1997/7/21	月	警官の聴取続く 祖母(母方)の死亡前後の話を重点的にきかれる。
1997/7/22	火	少年Aの友が丘の自宅に中傷の手紙が届く
1997/7/23	水	児童相談所へ
1997/7/24	木	警察官から事件被害者への謝罪を考えられていますか?と詰められる。
1997/7/25	金	弁護士と事件被害者への謝罪方法を相談。 午後、神戸家庭裁判所は地裁から送致されたAに観護措置を決定。 少年Aは家裁(少年鑑別所)へ:事実上の捜査終結 兵庫県警須磨署の連続通り魔事件の捜査本部を解散 神戸家裁からマスコミに公表された決定文は、A4判用紙で8枚の分量。 185頁にも及ぶ精神鑑定書、家裁調査官の調査結果などを提出(非公開)。 少年Aの友が丘の自宅に中傷の手紙が届く両親がA宛に手紙を書く
1997/7/26	土	暴風波浪にて友が丘の家の屋根のソーラー倒れる。嫌がらせの手紙多数届く。
1997/7/27	日	鑑別所での少年Aの様子が報道される。 弁護士より少年Aは両親からの手紙を読まなかった。
1997/7/28	月	弁護士から少年Aの鑑別所での様子を伝えられる。 少年Aの父が弁護士に今後の対応を相談。
1997/7/30	水	少年Aの父が家庭裁判所で調査官4名と対面。
1997/7/31	木	弁護士の事務所で心理カウンセラーより精神鑑定の説明をきく。
1997/8/1	金	親戚の家に報道関係者 少年Aに対して精神鑑定が始まる。 少年Aは鑑定士に対抗し「異常快樂殺人者」を演じる。 リーサルウェポンは「イメージ」「情報」「言葉」 「君はマスターベーションの時にどんなことをイメージするの?」 「史上最年少シリアルキラー」
1997/8/2	土	家族四人で墓参り。少年Aの母方の祖父の命日。
1997/8/4	月	家庭裁判所で第一回審判。20分で終了。
1997/8/7	木	少年Aも弟、次男・三男他県(ある施設で合宿生活)へ出発
1997/8/9	土	北須磨コープ前で「ふるさと祭り」開催。
1997/8/10	日	北須磨コープ前で「ふるさと祭り」開催(二日目)。
1997/8/11	月	被害者へのお詫びの手紙・妻:家庭裁判所へ、亀の水換え
1997/8/14	木	夫:家庭裁判所へ、調査官と面談
1997/8/15	金	お詫びの手紙投函。亀の水換え。
1997/8/16	土	(土師、山下)被害者宅へA少年の両親より、お詫びの手紙が届く。
1997/8/20	水	少年Aの父、家庭裁判所で心理テストを受ける
1997/8/26	火	少年Aの父、水のような血便が出る
1997/8/30	土	少年Aの父、弁護士事務所へ
1997/8/31	日	ダイアナ元皇太子妃交通事故で死亡
1997/9/18		神戸少年鑑別所で両親と面会「帰れ!ブタ野郎」 少年A鑑別所の日誌に「母に謝りたい」と書く。
1997/9/20		神戸少年鑑別所で母親と面会「命の話」母はAに珠数を差し入れ
1997/10/2		精神鑑定医が精神鑑定書を家裁に提出。
1997/10/6		第二回審判
1997/10/9		第三回審判。初めてAの両親が出席。 少年A、審判廷で初めて非行事実を認める。

	1997/10/13	第四回審判。裁判官が10月18日までの観護措置を認める。
	1997/10/17	第五回審判(最後の審判)。両親出席。医療少年院送致決定。 裁判官かみてAは「しなびた野菜」の様にみえた。 「このまま静かなところで、一人で死にたい。家には帰りたくない」 A「ないです。もう疲れたんで、早よ終わってください」 土師守氏、保護処分を受けてコメント発表。
	1997/10/20	関東医療少年院(府中)へ移送(上京)。単独室(特別室)へ入院。矯正教育開始。 建物から建物へワープしたような感覚。 法務省矯正局。 最初の三ヶ月間、心理テストが施される。 少年Aは、最初の「生活訓練課程G3適用犯罪少年」となる。 贖罪教育指導の明文化 生命尊重教育 「100%、男子としての性中枢が未発達だったことによる問題」 鑑定医たちが「数パーセントのわずかな可能性」と観測した「更正」へと向かって・・
平成10	1998/1/20	Aは四階にある精神寮の個室に移される。「4」号室 赤ん坊包み込み作戦開始 少年A たけしの万物創世記、Hey! Hey! Hey! 少年Aは、栃木女性教師刺殺事件の加害者と一緒に作業していた。
	1998/2/10	文藝春秋3月特別号に少年A供述調書掲載(14歳酒鬼薔薇聖斗の犯罪の全ぼう) 供述調書P121~138 本当なら、この日は淳君の12歳の誕生日であった。
	1998/3/24	本当なら、土師淳君の小学校の卒業式だった。
	1998/5/24 日	土師守氏事件発生から1年目(一周忌)の手記を弁護士を通して発表。 月照寺で淳君の一周忌の法要。
	1998/7/7	A少年の16歳の誕生日。
	1998/8/26	土師淳君の両親は少年Aと両親を相手取り、1億400万円の損害賠償訴訟を神戸地方裁判所に起こした。
	1998/9/15	「淳」発行日 土師守 おじいちゃんのとこ、いってくるわ
	1998/10/20	入院丸1年 コラージュ作品「肉体と精神の融合」 (少年院から)「出たいとも、出たくないとも思わない」 何度も特別室「反省房」に入れられる。
	1998/12/20	関東医療少年院でもクリスマス合唱コンクール。少年Aは不在。
平成11	1999/1/1	書初め大会。 漢字検定一級合格。 少年Aの母のイメージ。「かわいいブタ、死ね」粘土の塑像「贅肉の精」 少年院の法務教官から強い指導を受ける。 教官との交換ノート開始。「交換ノート」「内省ノート」「秘密の交換ノート」 お父さんのような人 精神科の女医はお母さんのような人「性格異常。治らないわよ」
	1999/3/11	民事訴訟判決言い渡し。全額の支払いを命ずる判決。
	1999/4/1	「少年A」この子を生んで…一悔恨の手記-出版
	1999/5/24	土師淳君死亡から丸2年
	1999/7/7	A少年の17歳の誕生日。 短冊に想いを記す。 ノストラダムスの大予言。人類滅亡。
	1999/8/1	教官から被害者遺族の書いた本を渡され読むように指示される「絶歌」に記述。 これを機に精神に変調をきたし始める。 狂人の楽園への逃げ道を塞ぐ。 少年Aが女医に恋愛感情を抱く。 「Kiroroのピアノをひく女性」が好み。 卓球ダブルスの試合で負けてモーニング娘。の歌を振り付きで歌う。 浴室掃除でゴキブリを食べる。 チャップリンジャンプを披露。 少年A女医にふられる。
	1999/10/20	入院丸2年 「死にたい」→「無人島で一人でくらしたい」
平成12	2000/1/1	少年Aは半透明な存在。 マヌエル・エルナンデス
	2000/4/20	自慰行為を再開。性的サディズム好転の兆し。(入院丸二年半年後) 被害者の遺族の本をAに読ませる。 ロールレタリング ソーシャル・スキル・トレーニング
	2000/5/24	土師淳君死亡から丸3年
	2000/7/7	A少年の18歳の誕生日。
	2000/8/1	少年院に初めて弟達が面会に来た。
	2000/10/20	入院丸3年 NHKの美術関係の通信教育。 異性への興味の芽生え
	2000/11/1	改正少年法成立(少年法の改正は50年ぶり)
	2000/11/26	神戸家裁の井垣裁判官が神戸新聞朝刊に寄稿。土師淳くんのお兄さんは怒り心頭。
平成13年	2001/1/1	両親との面会を再会 両親の著作:少年A この子を生んで・・をすでに読んでいた Aは四階にある精神寮の個室に移される。「4」号室
	2001/4/1	少年法改正施行:刑事処分の可能年齢が「16歳以上」から「14歳以上」となった
	2001/5/24	土師淳君死亡から丸4年
	2001/7/7	A少年の19歳の誕生日。

	2001/8/1	年頃の女性への興味
	2001/10/20	入院丸4年:「精神寮4号室」
	2001/11/27	東北少年院へ移送
		溶接工(アーク溶接)と建築関係の資格を取得
	2002/5/23	両親が仙台まで面会に来る。
	2002/5/24	土師淳君死亡から丸5年
平成14年	2002/7/7	A少年の20歳の誕生日。(Aは少年ではなく成人となる)
	2002/7/12	東北少年院にて両親と面会。 神戸地裁がAを平成16年12月31日まで少年院に收容する事を決定。
	2002/10/20	入院丸5年
	2002/11/1	東北少年院から関東医療少年院(府中)へ移送
	2002/12/1	マヌエル・エルナンデス氏に「家族の元へは帰れない」と語る。
平成15年	2003/3/25	関東医療少年院の院長がAの仮退院を申請
		Aは日本の一角で「匿名」で静かに暮らしたい。
	2003/5/1	森山真弓法務大臣が平成15年内にAが仮退院をする見通しを述べる。
	2003/5/24	土師淳君死亡から丸6年
	2003/7/7	A少年の21歳の誕生日。
	2003/8/1	院内で盆踊り大会
	2003/10/20	入院丸6年
		Aは寛解状態にある(法務省)
平成16年	2004/3/10	A仮退院(三ヶ月間の訓練期間)以上で6年5ヵ月の矯正教育が終了 保護観察期間開始
		用意されたワゴン車に乗り込み、関東医療少年院をあとにした。 3人の東京保護観察所の観察官が同乗(三ヶ月間行動を共にする) 高速道路のPAで乗用車に乗り換え、都内のビジネスホテルにチェックイン(昼過ぎ) ホテルのロビーにて更に二人の女性観察官と合流し合計6名で外出。中華料理店で食事。 夕方ホテルの部屋に戻る。Aはホテルでテレビから流れる遺族のコメントを聴いていた。 この日から約一ヶ月間、都内にて社会見学(三人の観察官同行)。
	2004/4/1	更正保護施設に入所(4月上旬) 派遣会社に対して休職活動を開始する。 最初の仕事はオフィス移転の現場(人生初の労働):対価は8000円ちょっと。 三日後の仕事は、清掃作業(ポリッシャーかけ):対価は6000円。ちょっと。 更に二日後、周囲に元少年Aである事が知れ渡り、ビジネスホテルに一泊。 翌日、更生保護施設から6キロ離れたウィークリーマンションに移動。 結局、元の更生保護施設に戻ることになる(今度は離れて生活)。
	2004/4/6	少年A 矯正2500日全記録 草薙 厚子 発行
	2004/4/15	4月中旬から廃品回収業の助手を勤める。 少年院を出てから初めて笑う。
	2004/5/15	5月中旬、東京を離れ、篤志家(とくしか)のYさんの家に移る。 移転先の保護観察所の次長、課長に引渡し。 三時間程移動した先は海が近く長閑な地域だった。
	2004/5/24	土師淳君死亡から丸7年
	2004/6/1	パートとして溶接関係の会社で働き始める。
	2004/7/7	A少年の22歳の誕生日。
	2004/7/31	実父と会った。最後の日。山奥のコテージ。生まれて初めて父の涙をみる。
	2004/10/1	別の会社で正社員として働き始める。(2004年の秋になる頃)ハローワークで就職活動。
	2004/12/5	関西テレビで淳君の遺族のドキュメント番組放映 「罪の意味 少年A仮退院と被害者の7年」 Aはこの番組の録画テープを篤志家のYさんの奥さんと一緒にYさん宅の居間で見た。
	2004/12/31	保護観察期限(保護観察期間終了)
平成17年	2005/1/1	本退院 7年半にわたる矯正教育の終了 法的な一切の縛りがなくなる。 職場の近くにアパートを借り一人暮らしを始める。仕事はプレス工。 アクセサリデザインに凝る。
	2005/1/1	民間のサポートチームのケア開始
	2005/5/24	土師淳君死亡から丸8年
	2005/7/7	A少年の23歳の誕生日。
	2005/8/1	ボーナスをもらいプレス工の仕事を辞める。 70万円の現金をウェストポーチに入れ23歳の夏に長い旅にでる。自分ひとりで生きていく。 一泊1800円のカプセルホテルに落ち着く。
平成18年	2006/1/1	建設会社に就職が決まる。三ヶ月毎の契約社員。手取り17万円。 主な仕事は解体作業。 犀の角のようにただ独り歩め ペーパークラフトの作成に勤む
	2006/6/15	『少年Aから酒鬼薔薇聖斗は消えたか』
	2006/7/7	A少年の24歳の誕生日。
	2007/5/11	平成19年 謝罪の手紙
	2007/7/7	A少年の25歳の誕生日。
	2008/5/13	平成20年 謝罪の手紙
	2008/7/7	A少年の26歳の誕生日。
	2008/9/15	リーマンショック。
	2009/5/13	平成21年 謝罪の手紙
	2009/6/1	突然の通知。一ヶ月後に自主退社。所持金は100万以上あった。 以降、色々な仕事を転々とする。 コラージュに没頭する。
	2009/7/7	A少年の27歳の誕生日。
	2009/9/1	人生で二度目の就職活動に専念。

		三社目で運良く溶接工の仕事に就く事が出来た。
		繊維機械部品の溶接。
		この頃、自分自身の「事件」に関して勉強を始める。
	2010/5/18	平成22年 謝罪の手紙
	2010/7/7	A少年の28歳の誕生日。
	2011/5/11	平成23年 謝罪の手紙
	2011/7/7	A少年の29歳の誕生日。
	2011/9/1	入社二年目。中国人の後輩ができる。
	2012/5/17	平成24年 謝罪の手紙(速達)
	2012/7/7	A少年の30歳の誕生日。
	2012/12/1	入社3年3ヶ月で辞表を提出。
		短期のアルバイトの掛け持ちで食いつなぐ。
	2013/7/7	A少年の31歳の誕生日。
	2014/7/7	A少年の32歳の誕生日。
	2015/3/10	退院して11年。なぜ人を殺してはいけないか？ それはあなたが想像している以上にあなたが苦しむから。
	2015/6/7	平成27年 謝罪の手紙(罪に向き合い始めている感じ取れる内容と土師守氏は受け止めていた)
平成27年	2015/6/28	絶歌 初版発刊(謝罪の手紙から三週間後)
	2015/7/7	A少年の32歳の誕生日。
	2015/9/10	元少年Aのサイトの存在が一般に知れ渡る。
	2015/10/12	有料メルマガ『元少年Aの“Q&少年A”』配信開始
	2015/10/15	有料メルマガ『元少年Aの“Q&少年A”』配信凍結